日本遺産「石見神楽」の躍動を間近で観る

有福温泉 湯の町神楽殿

レトロな温泉街にある「湯の町神楽殿」は、舞台と客席が近くまさに目の前で迫力ある石見神楽を楽しめる場所です。公演は、地元の神楽団により定期的に行われています。石見神楽は、日本神話を題材に金糸銀糸を織り込んだ豪華絢爛な衣裳、表情豊かなお面を身につけた人々が、太鼓や笛のお囃子に合わせ勇壮に舞う島根県西部(石見地方)に古くから伝わる伝統芸能で日本遺産に認定されています。

有福温泉 湯の町神楽殿[有料事前要予約]
■営業：土曜日(隔週) 20:30～21:30
■ご予約・お問い合わせ
江津市観光情報センター(tel.0855-52-0534)
[受付] 9:00～17:00
[定休] 毎週火曜日、年末年始(12/29～1/3)

神楽の上演日程は「江津市観光協会ホームページ」にてご確認ください。
https://gotsu-kanko.jp/iwamikagura/arifukukaguraden

海の幸、山の幸、福ありのおもてなし

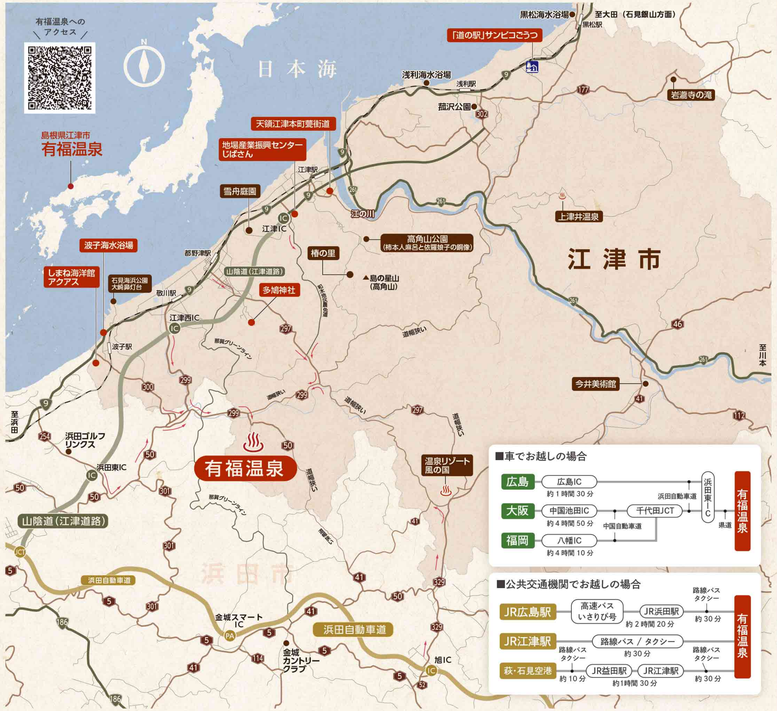
浜田漁港で水揚げされる海の幸、近くの山で採れる山の幸。この土地でしか味わえない旬と珍味。豊かな自然からいただく四季折々の幸を目で楽しみ、舌で楽しんでいただけるように日々工夫を凝らしています。お料理は各旅館にご宿泊することでお召し上がりできます。

※写真（提供／よしだや）はイメージです。 ※季節やコースによって内容は異なります。

創業270余年、自家源泉かけ流しの宿
ありふく よしだや
島根県江津市有福温泉町708番地
tel.0855-56-2222
https://arifukuyoshidaya.com/

殿様の別荘だった宿で江戸時代を体感
三階旅館
島根県江津市有福温泉町692番地
tel.0855-56-2211
http://sangai.jp/

3000坪の敷地に古民家移築の離れ和室など趣の異なる全9室
旅館ぬしや
島根県江津市有福温泉町955番地
tel.0855-56-2121
http://www.nushiya.jp/



■車でお越しの場合

広島	広島IC 約1時間30分	浜田自動車道	浜田東IC 出口	有福温泉
大阪	中国池田IC 約4時間50分	中国自動車道	千代田JCT	
福岡	八幡IC 約4時間10分			

■公共交通機関でお越しの場合

JR広島駅	高速バス いさりり号 約2時間20分	JR浜田駅	路線バス タクシー 約30分	有福温泉
JR江津駅	路線バス タクシー	路線バス / タクシー 約30分	路線バス タクシー	
萩・石見空港	約10分	JR益田駅	JR江津駅 約1時間30分	約30分

有福温泉から近い 観光紹介

しまね海洋館 アクアス
シロイルカパフォーマンスで有名な中四国最大級の水族館

波子海水浴場
石見地方有数の広さを誇る海水浴場

多鳩神社
かつて石見の国の「二の宮」と称された古い社。八咫烏の伝説もある

地場産業振興センター じばさん
石見焼、石州和紙などの地場産品を一堂に集め展示販売

「道の駅」サンピコごうつ
新鮮な地元の食材がそろう農林水産物直売所

天領江津本町 甍街道
北前船が寄港し賑わいを見せた頃の赤瓦の町並みが残る

■お問い合わせ

江津市観光情報センター
(江津市観光協会)
島根県江津市江津町1518-1
tel.0855-52-0534 fax.0855-52-0644
[営業] 9:00～17:00
[定休] 火曜日、年末年始
https://gotsu-kanko.jp/

レンタサイクル
(貸出し自転車)
電動アシスト付き自転車なので坂道もラクラク！ 観光にビジネスに、ご利用ください。
[料金] 4時間…700円／台
1日…1,000円／台

美人の湯
有福温泉

山里に湧き出る福ありの湯

緑深い山里に約1370年前から続く「福ありの里 有福温泉」。透き通った湯は、美肌作用があると言われ「美人の湯」として親しまれています。石畳の階段沿いに連なるノスタルジックな赤瓦の温泉街です。

有福温泉

一万年の時を超え 滾々と湧く「美人の湯」

『福ありの里 有福温泉』は西暦651年、天竺から来た法道仙人が発見されたと言われ、以来“名湯が湧く福ありの里”と口伝えで評判が伝わったことがこの福々しい地名の由来とされています。

有福温泉の13の泉源はすべて自然湧出です。3つの外湯（公衆浴場）では、それぞれ異なる趣と源泉かけ流しの湯も楽しめます。その温泉水の年代を測定すると11,600年～9,500年前であることがわかりました。有福の湯は、太古の天水（雨水）が入浴に適した温度で湧き出ている、まさに“奇跡の湯”です。また、泉質は「アルカリ性単純温泉」で、保湿効果が高く「美人の湯」として知られています。

趣の異なる3つの外湯と「源泉かけ流し」

●外湯 御前湯（公衆浴場）

御前湯は、石段を登った先の温泉街が見渡せる高台にあり、大正浪漫を彷彿させるレトロな外観です。内部も意匠を凝らした古い番台や階段があり、今も昔のように湯番さんに湯銭を払います。この湯に殿様も入っていたことから御前湯と名付けられました。浴槽は深めで、中央の丸い石から滾々と湧く「美人の湯」。御前湯はその雰囲気、泉質ともに有福を代表する外湯です。

［泉温］男湯47.0℃ / 女湯46.8℃
［営業］7：00～21：00（最終受付20：30）
［定休］毎週火曜日

●外湯 さつき湯（公衆浴場）

昭和初期に建てられ平成に改築された、鄙びた風情の木造の外湯。深い浴槽で肩まで浸かれます。

［泉温］46.2℃
［営業］10：00～21：00
火曜日7：00～21：00
（最終受付20：30）
［定休］毎週木曜日

●外湯 やよい湯（公衆浴場）

少しぬるめの湯は、ゆっくり長湯するのに最適です。浅めの浴槽、シャワー設備なし。

［泉温］42.5℃
［営業］10：00～21：00
（最終受付20：30）
［定休］毎週金曜日
※必要に応じて減菌処理を行います。

［泉質］アルカリ性単純温泉（低張性アルカリ性高温泉）
［料金］大人（中学生以上）400円 / 小人（小学生）200円 / 御前湯家族風呂 1,200円（60分）

歴史が今なお残る ノスタルジックな面影

福光石の石畳と階段沿いに連なる石州赤瓦の家並。そして、温泉街を彩る神楽囃子。出湯の山里有福では、太古の恵みと日本の原風景を体感できます。開湯は1,370年前といわれ、湯治場として栄えてきた歴史もあり、現在も当時の面影が残るノスタルジックな温泉地です。

江戸時代の逸話から生まれた 有福の銘菓『善太郎餅』

善太郎餅本店

有福に実在した善太郎の逸話に登場した草餅。こだわりの小豆つぶあん、春先に摘んだヨモギなど厳選した材料をつかい、ひとつひとつ丁寧に手作りされます。情緒ある店舗には、喫茶コーナーもあります。

［営業］8：00～18：00（不定休）
tel.0855-56-2130

善太郎餅

店舗外観

本明山トレッキング

戦国時代の城跡からの絶景を楽しむ

本明山・城跡（417.2m・別称：権現山）は、中世に福屋氏の山城があり、現在も苔むした石垣や石段が残ります。

登山口から山頂までは2km・往復2時間。岩が露出した山頂には金刀比羅権現を祀った社殿があり、日本海や中国山地を望む大パノラマが拡がります。登山道の7合目付近の石清水は“島根名水100選（歴史の泉）”として指定された「お不動さんの水」が岩の割れ目から流れ出ています。

登山道の様子

お不動さんの水

山頂手前にある鳥居

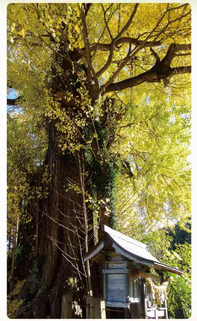
山頂から見る絶景

有福八幡宮

樹齢推定千年の「大イチョウ」

高さ12m 周囲10mの巨木。樹齢推定千年といわれ、天の神様が雌木を都にしようと雌雄二粒の種を落としたが、ここに落ちた種は雄木になったため都にはならなかったという伝説や、白蛇伝説があります。

八幡宮



大イチョウ

サムライが力自慢を誇った「力石」

有福八幡宮には中世「有福別府山城」がありました。この石は、家来達が戦に備え、平素より身体鍛錬として己の「力自慢」を誇るのに使用したと伝わっています。

力石

江戸時代の街道交差点「五葉の辻」

八幡宮の鳥居前は「五葉の辻」といい「三次往還（石州浜田城下と備後国三次をつないだ街道）」と近隣の村、温泉への道が交差する場所でした。伊能忠敬は、ここを湯谷（有福）追分と名付けました。

五葉の辻

福ありの里に鎮座する「有福大仏」

昭和13年頃建立された高さ3mの大仏で、顔の部分に金箔がはられているのが特徴です。

大仏殿

有福大仏